

Game Report

開催場所：東海大学九州

試合区分：第 24 回全九州大学バスケットボールリーグ戦

試合期日：2017 年 9 月 23 日(土)

試合時間：18：20～

主審：大久保 好純

副審：古後 宏和

東海大学九州	○ 88	29	—1st—	13	● 58	鹿屋体育大学
		24	—2nd—	14		
		20	—3rd—	20		
		15	—4th—	9		

第 1 ピリオド

開始早々、東海大は早いパス回しから #8 佐竹がシュートを決める。勢いそのままに、#11 趙、#2 長野が 2 本連続で 3 P シュートを沈める。鹿体大は早くもタイムアウトを請求。その後、鹿体大は #43 横川を起点として、#9 長谷川が 3 P シュートを決める。また、ベンチスタートの、#2 櫻谷、#20 若松が活躍をみせるも、東海大の勢いは止まらず。29-13、東海大が 16 点リードで第 1 ピリオドを終える。

第 2 ピリオド

追いつきたい鹿体大は #43 横川が、連続得点でチームを引っ張る。さらに、#0 池田、#21 池浦が奮闘する。リードする東海大は、#7 林が高さを活かし得点を重ねていく。さらに、#2 長野から華麗にパスが通り、#8 佐竹、#20 玉井がシュートを決める。何とかリズムをつかみたい鹿体大だったが、東海大のスピードある攻防を止めることができない。53-27、東海大 26 点リードで、前半を終える。

第 3 ピリオド

開始早々、鹿体大は #43 横川が 4 点プレーを決める。#12 川尻もゴール下で踏ん張り、#43 横川に続く。東海大は、#7 林を軸に、#20 玉井、#5 北原が、立て続けに 3 P シュートを決め、徐々にリードを広げていく。対する鹿体大は、#9 長谷川が 2 本連続で 3 P シュートを沈め、喰らいつく。#0 池田、#20 若松がペネトレイトからシュートを決め、73-49 と、東海大リードのまま最終ピリオドへ。

第 4 ピリオド

第 4 ピリオドになっても東海大の勢いは止まらず、#10 濱野が 3 P シュートを決める。また、#7 林、#11 趙の高さのあるゴール下で得点を重ねる。鹿体大も #21 池浦のゴール下からチャンスを伺う。#0 池田もゴールを狙うが、東海大のブロックに遭い、得点することができない。終始ゲームの指導権を握った東海大が、88-58、30 点リードで、1 巡目を終えた。